

【後期展示のご案内】4月29日より約30作品を入れ替え、後期展示がスタート！

パウル・クレー展——創造をめぐる星座

会期／2025年3月29日（土）～5月25日（日）

会場／兵庫県立美術館

パウル・クレー 20世紀美術に燦然と輝くスターたちとの共演！

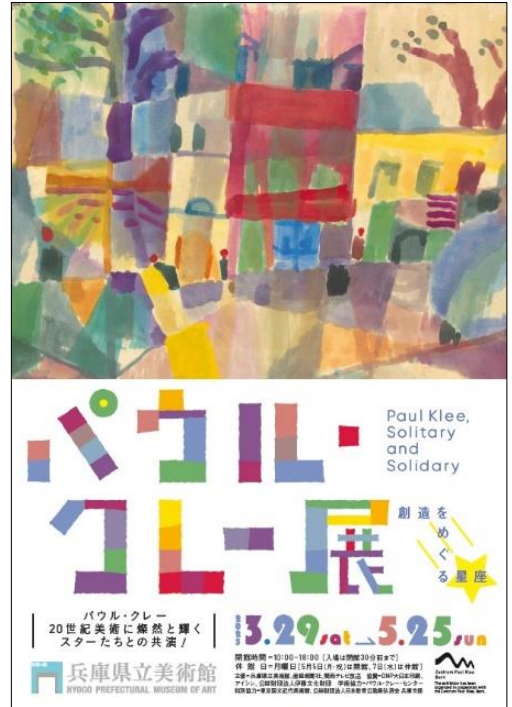
現在、兵庫県立美術館にて「パウル・クレー展——創造をめぐる星座」が好評開催中です（5/25まで）。

「この世では、私を理解することなど決してできない。なぜなら私は、死者たちだけでなく、未だ生まれざる者たちとも一緒に住んでいるのだから。」

パウル・クレー（1879-1940）のこの言葉は、1920年にクレーの作品を売り出した画廊の販売戦略に用いられて、孤独に瞑想する芸術家としての彼のイメージを広めました。たしかにクレーの作品は謎めいているかもしれませんが、しかし、同じ時代を生きたほかの多くの前衛芸術家たちと同様に、クレーもまた、仲間たちと刺激を与え合ったり、夢を共有したりしながら、困難な時代を生き抜いたひとりの人間でした。

クレーは、人生の根源的な悲劇性と向き合いながら、線と色彩によって光を呼び起こし、抽象のなかに生命のエネルギーを描き出しました。その作品は、歴史的な文脈のなかに置かれることで、また新たな姿を見せることでしょう。本展では、スイスのパウル・クレー・センターの学術協力のもと、クレーと交流のあった芸術家の作品との比較や、当時の貴重な資料の参照を通じて、多くの人や情報が構成する星座＝コンステレーションのなかでクレーを捉え直し、その生涯にわたる創造の軌跡をたどります。

そして、4月29日（火・祝）からいよいよ後期展示が始まります。クレーがバウハウスで授業を開始した翌年の1922年に制作された《橋の傍らの三軒の家》や、ドイツでの地盤を失った1933年に制作された《腰かける子ども》をはじめ、約30点の作品が入れ替わり見応え十分です。



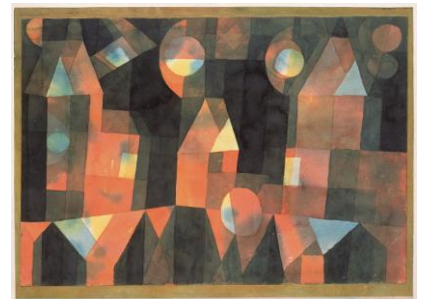
【1】

後期展示作品

■パウル・クレー《橋の傍らの三軒の家》（第5章）

1921年にクレーがバウハウスのマイスターとなった翌年の作品。同じくバウハウスで教鞭を執っていたリオネル・ファイニングをほうふつとさせる、三角屋根とアーチ状の橋脚をもつ橋のモチーフが画面上でリズムカルに繰り返される。

一方で色彩については、クレーが後にバウハウスで展開する色彩環あるいは色彩立体における運動、すなわち橙色と黄色の間の運動と、橙色もしくは黄色と青色との間の運動が反映されており、とりわけ青色との間の運動で生じる灰色の色調が、白と黒の間の色調である灰色の運動と重なり合うことで、クレーの色彩における理論的体系を先取りしているとも考えられる。



パウル・クレー《橋の傍らの三軒の家》1922年 宮城県美術館

■パウル・クレー《腰かける子ども》（第6章）

ヒトラーが政権を握った年に制作された作品。時間的な経過を示すポリフォニックな一筆書きの線が、椅子に腰かけて鑑賞者の方を振り返る子どもの姿を描き出している。優しく微笑む子どもの視線の先には家族がいるかのようだ。背景のピンクの軽やかな色彩と、白く残された椅子のまぶしさによって、ここには幸福な雰囲気を感じられる。しかし1933年という危機的な状況を象徴するかのよう、この作品に用いられた褪せそうな淡い色彩や描かれた紙の薄く皺の寄ったようすが、一方ではこの幸福感がもろく壊れやすいものであることを暗示している。

パウル・クレー《腰かける子ども》
1933年
宇都宮美術館

■ パウル・クレー《パレッシオ・ヌア》（第6章）

牧畜の群れと牧人を守る古代ローマの女神「パレス」と、ラテン語で「新しい」を意味する「nuva」からクレーが創作した造語が題名となっている本作では、彼には珍しい強烈な赤と青のコントラストによって画面が彩られている。本作はクレーの自筆作品目録でナチズムの暴力やその被害者たちの姿を連想させる一群の線描画の中に置かれており、ここに描かれているのは、ナチズムによる虐待から人々を守る「新たな女神」である可能性を示唆している。



パウル・クレー《パレッシオ・ヌア》
1933年
宮城県美術館

■ パウル・クレー《ラトミー》（第6章）

シチリア島シラクザにある石切場「ラトミア」のドイツ語読みを題に持つ本作で画面に描かれた線は、線どうしが互いに交差することによって閉じる面を持たない、純粹で自律的かつ能動的な線であると同時に、石切りによって生じた人工的で幾何学的な形と、地形が本来持っている有機的な形が混在するラトミアの風景と結びつけられている。同じ年に制作されたいくつかの作品にみられる起伏を生じた支持体に薄茶色で彩色された本作では、その質感があたかも長年の風雨によって削られたラトミアの岩肌を想起させ、またところどころに彩色された薄緑色は、ラトミアの岩肌に点在する植物を表しているかのようである。



パウル・クレー《ラトミー》
1939年
宮城県美術館

◆ 上記以外のパウル・クレー後期展示作品

<第1章>

・パウル・クレー《若い婦人（光のフォルム）》1910年 宮城県美術館

<第2章>

- ・パウル・クレー《競馬 I》1911年 宮城県美術館
- ・パウル・クレー《無題（反射する窓）》1915年 宮城県美術館
- ・パウル・クレー《三人のアラビア人》1915年 宇都宮美術館

<第4章>

・パウル・クレー《舞台稽古》1925年 宇都宮美術館

<第5章>

・パウル・クレー《パウハウス展のための絵葉書「愉快的な面」》1923年 宇都宮美術館

関連イベント

■ 学芸員による解説会

日時：5月18日（日） 15:30 - 16:15

会場：兵庫県立美術館レクチャールーム

聴講無料、先着順、定員80名

■ ミュージアム・ボランティアによる解説会

日時：会期中の毎週日曜日 11:00 - 11:15

会場：兵庫県立美術館レクチャールーム

聴講無料、先着順、定員80名

お得なコラボ企画を実施！

■ アトアとの相互サービスを実施

展覧会開催期間中、AQUARIUM × ART átoaの入場券各種を本展チケットカウンターにて提示でチケット代が割引になります。

《割引価格》

当日一般2,000円（税込）⇒1,900円（税込）

当日大学生1,500円（税込）⇒1,400円（税込）

また、本展観覧券および半券をAQUARIUM × ART átoa3階 átoa LABショップにて提示で、オリジナルポストカードをプレゼントいたします。

※証票1枚につき、1人1回の使用に限ります。そのほか割引との併用は不可。

ただし証票が複数名の利用であることが認識できる場合は、利用者分の割引とします。



■ unimocc art cafe gallery×「パウル・クレー展」 コラボドリンクを販売！

「アートを見る.知る.伝える.」をコンセプトに絵画からインスパイアされたドリンクやアート体験ができる「unimocc art cafe gallery」では、展覧会期間中、「北方のフローラのハーモニー」をイメージしたフルーツシャーベットのティーソーダを提供します。

商品名：《北方のフローラのハーモニー》をイメージしたフルーツシャーベットのティーソーダ

販売期間：3月29日（土）～5月25日（日）

販売価格：1,800円（税込）※毎日数量限定

販売場所：unimocc art cafe gallery

〒542-0012大阪府中央区谷町6丁目3-25, 1F

公式サイト：<https://unimocc.com/>



■ 展覧会観覧相互割引

本展の観覧券（半券可）をご提示いただくと、下記の展覧会が割引料金でご鑑賞いただけます。

展覧会名：「空想旅行案内人 ジャン＝ミッシェル・フォロン」展 当日券100円引き！

会期：2025年4月5日（土）～6月22日（日）

会場：あべのハルカス美術館

※1枚につき1名様1回限り有効 ※他の割引との併用不可 ※休館日、開館時間等の詳細はあべのハルカス美術館公式サイトをご確認ください

開催概要

展覧会名：パウル・クレー展——創造をめぐる星座

会場：兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]

会期：2025年3月29日（土）～5月25日（日）50日間

開館時間：午前10時～午後6時 ※入場は閉館の30分前まで

休館日：月曜日（ただし5月5日〔月・祝〕は開館、5月7日〔水〕は休館）

観覧料：

	当日	団体
一般	2,000円	1,600円
大学生	1,500円	1,200円
高校生以下	無料	—
70歳以上	1,000円	800円
障害者手帳等をお持ちの方（一般）	500円	400円
障害者手帳等をお持ちの方（大学生）	350円	300円

※団体は20名以上。団体鑑賞をご希望の場合は1カ月前までにご連絡ください

※障害者手帳等をお持ちの方1名につき、その介助の方1名は無料

※予約制ではありません。混雑時は人数制限を行いますのでお待ちいただく場合があります

※一般以外の料金で利用される方は証明書を当日ご提示ください

※コレクション展の観覧には別途観覧料金が必要です（本展とあわせて観覧される場合は割引があります）

〈主な販売場所〉

公式オンラインチケット、チケットぴあ（Pコード：687-122）、ローソンチケット（Lコード：55615）、セブンチケット（セブンコード：108-424）、イープラス、CNプレイガイド、アソビュー！、楽天チケット、兵庫県立美術館ミュージアムショップ、近鉄営業所ほか

主催：兵庫県立美術館、産経新聞社、関西テレビ放送

協賛：DNP大日本印刷、アイシン、公益財団法人伊藤文化財団

学術協力：パウル・クレー・センター

特別協力：東京国立近代美術館、公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

公式サイト：<https://www.ktv.jp/event/paulklee>

お問合せ：兵庫県立美術館 078-262-1011

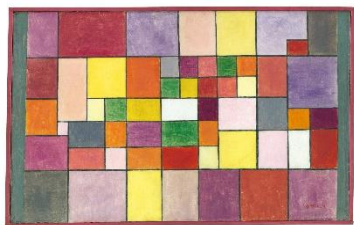
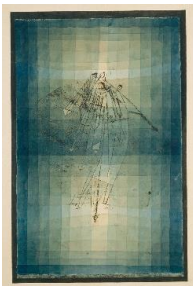
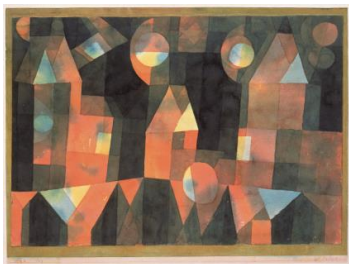
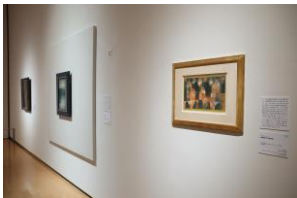
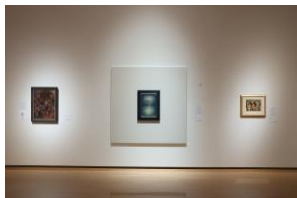
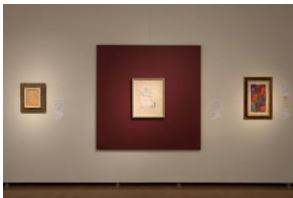
【広報画像一覧】 パウル・クレー展——創造をめぐる星座

広報用画像を提供いたします。ご希望の場合は、下記よりお申込みください。

【申込フォーム】

<https://forms.gle/Xtx4KiVacELZ3x7P8>



【2】 	【3】 	【4】 	
【5】 	【6】 	【7】 	
【8】 	【9】 	【10】 	
【11】 	【12】 	【13】 	
【14】 	【15】 	【16】 	【17】 

【報道に関するお問合せ】

「パウル・クレー展——創造をめぐる星座」神戸展 広報事務局（ネネラコ内）

E-MAIL / paulklee-kobe@nenelaco.com TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

【広報画像申込書】 パウル・クレー展——創造をめぐる星座

【広報用画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります（会期終了まで）。使用後は、データの破棄をお願いいたします。
- 展覧会名、会期・会場名のほか、画像掲載の際は作品名、所蔵先を必ずご掲載ください。
- 画像は全図でご使用ください。トリミング、文字乗せなどの加工・変更はできません。
- 転載、再放送など、二次使用される場合は別途申請をお願いいたします。なお、展覧会終了後の二次使用はできません。
- webサイトに掲載する場合は、72dpi 以下、400×400pixel 以下の解像度にし、コピーガードをかけてご掲載ください。
- 基本情報、画像使用などの確認のため、グラブリ・原稿段階のものを「広報事務局」にお送りください。
- 掲載・放送後は、**必ず掲載紙（誌）、掲載URL、同録DVDを下記「広報事務局」までお送りください。**

【キャプション一覧】 ご希望の画像番号の□に✓をお願いします。

番号	クレジット
1□	チラシビジュアル *クレジットなし
2□	パウル・クレー《リリー》1905年 パウル・クレー・センター（リヴィア・クレー寄贈品）
3□	パウル・クレー《チュニスの赤い家と黄色い家》1914年 パウル・クレー・センター
4□	パウル・クレー《熱帯の花》1920年 パウル・クレー・センター
5□	パウル・クレー《北方のフローラのハーモニー》1927年 パウル・クレー・センター（リヴィア・クレー寄贈品）
6□	パウル・クレー《腰かける子ども》1933年 宇都宮美術館 ※4月29日から展示
7□	パウル・クレー《ハマメットのモチーフについて》1914年 バーゼル美術館
8□	パウル・クレー《周辺に》1930年 バーゼル美術館
9□	パウル・クレー《蛾の踊り》1923年 愛知県美術館
10□	パウル・クレー《赤、黄、青、白、黒の長方形によるハーモニー》1923年 パウル・クレー・センター
11□	パウル・クレー《橋の傍らの三軒の家》1922年 宮城県美術館 ※4月29日から展示
12□	パウル・クレー《パレッシオ・ヌア》1933年 宮城県美術館 ※4月29日から展示
13□	パウル・クレー《ラトミー》1939年 宮城県美術館 ※4月29日から展示
14□	神戸会場風景 ※後期展示
15□	神戸会場風景 ※後期展示
16□	神戸会場風景 ※後期展示
17□	神戸会場風景 ※後期展示

貴社名／	ご所属部署／
ご担当者／	TEL／
E-mail／	
貴媒体名／	媒体種／
掲載号・露出予定日／ への転載あり	月号（ 月 日号）／ 月 日発売予定 □WEB
サイトURL／	
媒体プレゼント用チケット／□希望（2組4名まで）※1点以上の広報用画像使用必須 お送り先／〒	

【報道に関するお問合せ】

「パウル・クレー展——創造をめぐる星座」神戸展 広報事務局（ネネラコ内）

E-MAIL / paulklee-kobe@nenelaco.com TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル